

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成 29 年度第 3 号 10 月 27 日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

「新高祭」『日頃、努力してんだぜ！！～ 今こそ見せる 努力の証 ～』

文化体育部長 須藤 栄子

最大行事「新高祭」が、今年は11月10日（金）～11日（土）に実施されます。今年のタイトルは『日頃、努力してんだぜ！！～ 今こそ見せる 努力の証 ～』に決まりました。

今年も趣向を凝らした学科企画、行列必至の製品即売会と誰もが楽しめる企画が一杯です。生徒が主役の新高祭、ぜひ生徒たちの活躍をご覧いただければと思います。

●新高祭1日目 11月10日（金）＜保護者出入り口は生徒玄関 開場9：00＞

- ・オープニングセレモニー 9：10～ 9：25
- ・部活動発表 9：25～
- ・かくし芸大会、かくし芸大会表彰 ～12：10

※一般公開はいたしません（保護者、来賓のみの公開）

●新高祭2日目 11月11日（土）＜ 開場 9：00 ＞

◎内容

- ・学科生產品即売会（体育館） 9：10～11：20
- ・学科企画（各教室） 9：20～11：20
- ・各学年発表（舞台発表）
 - 1学年 11：40～12：10
 - 2学年 12：20～12：50
 - 3学年 13：00～13：30
 - フィナーレ 13：50～14：10
 - 下校 14：20



◎学科企画（模擬店）に関わるお願い

- ・学科企画や外部物品販売により、軽食程度の飲食物販売が行われます。販売については前売り券を扱わず、当日現金販売とさせていただきますので、釣り銭のないようご協力をお願いします。また数に限りがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・生徒の昼食は、各学年ごとに職員ととることになっております。

◎学年発表に関わるお願い

- ・上記の時間で各学年による舞台発表が行われますが、演目が早めに終了した場合は、次の演目が繰り上げとなります。また、今年度より、公演中、体育館の入退場を制限させていただきます。あらかじめご了承ください。（幕間のタイミングなど見計らって、担当者が扉の開閉を行います。）
- ・床にも座れるようシートを用意しております。寒さが気になる方は、座布団や膝かけをご用意ください。

◎感染症予防対策に関わるお願い

- ・上履き、下足入れ（ビニール袋）をご持参願います。また会場ではインフルエンザなどの予防のため、消毒薬を準備しております。入場の際には手指の消毒をお願いします。

「学校開放講座を終えて」

総務部 高階 美穂

夏休み中の7月25日(火)、新篠津村内の小学生を対象とした学校開放講座を開催しました。今年度は、陶芸教室5名、クッキング2名の参加で、少し緊張感をもちつつ楽しみな様子をのぞかせた小学生の皆さんと、明るい雰囲気の中開講式が行われました。



陶芸教室では、高学年がマグカップ、中低学年はお皿を作りました。担当の先生の話真剣な顔で聞きながら、優しく丁寧に粘土を扱い、それぞれが気に入ったはんこを思い思いの場所に押し、オリジナリティあふれる素敵な作品を作りあげていました。



クッキングではオレンジの二層ゼリーを作りました。生クリームの泡立てに苦労しながらも二人で交代しながら力を合わせる場面もあり、協力して楽しく調理をしていました。冷えて固まったゼリーを見て、二層になっている

と喜びながらとびきりの笑顔での試食に、思わずこちらも笑顔になりました。

貴重な夏休みの一日を楽しもうと元気いっぱい来校してくれた小学生の皆さんの、わくわくドキドキがあふれる表情やしぐさ、一生懸命なまなざしがとても印象的で、こちらまで元気をもらいました。



短い時間ではありましたが、長い夏休みの楽しい思い出の1ページとなっていたら幸いです。



「青空まつり」

総務部 坂口 浩隆



8月26日(土)新しのつ「青空まつり」が行われました。この日の天気予報は数日前から雨マークが表示されていました。そして、当日は小雨が降る中準備を進めていました。その中で、実行委員会の強い意志が通じたのか「青空まつり」が始まると快晴。とても良い祭り日和となりました。

参加者は、産業科、生活家庭科、生活技術科の生徒15名。PTA厚生部の保護者5名。教職員を含めて30名以上が集合しました。

販売品は、産業科の器類。生活家庭科のストラップ類。生活技術科の本格コーヒーでした。厚生部は、各家庭から協力頂いて集めたバザーの品がメインでした。それぞれの販売品は生徒たちの大きな声を出す呼び込みなどの頑張りもあり順調に売れました。そして、めでたく完売することができました。

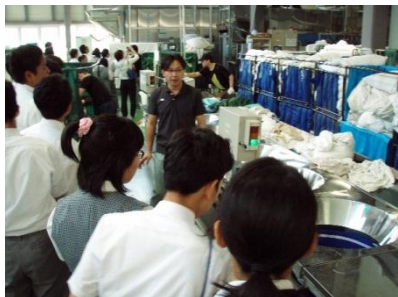
参加した生徒たちも販売活動に携わり、その楽しさと厳しさなどを味わうことができたようです。また、隣に出店していた新篠津中学校を始め多くの団体が参加していました。その雰囲気などを感じ有意義な時間を過ごしたものと思います。

テントなどの準備から販売活動、後片付けを通じ、体調を崩したりけがをしたりすることもなく順調に終わることができました。



2 学年職場・福祉事業所見学を終えて

2 学年 山本 健之



2 学年では、進路学習の一環として9月5日（火）に職場・福祉事業所見学に行ってきました。行き先は、札幌市、石狩市、北広島市などの一般企業や事業所などで、3コースに分かれて見学してきました。各コースとも、働く場、生活の場を含めた4カ所程度の見学になりましたが、現場実習を前に実際に働く人の姿や場所、雰囲気を感じることができました。

働く場の見学では、印刷や映像の字幕制作、石けん製造などに携わる一般企業や、様々な職場にも実習に行き、働く力を高めながら自分に合った就労先を探す就労移行支援の事業所、食事や仕出し弁当などを提供しながらレストランやカフェを運営している就労継続支援の事業所などを訪問しました。昼食は、そのレストランでとりましたが、厨房やホールで働く様子も合わせて見学することができました。

見学の際には丁寧な説明を受け、それぞれの職場の方や本校の先輩から説明や働く上で大切なことなど聞きました。どの生徒も聞く姿勢を保ち、中にはメモを取る姿も見られました。

生活の場は、各コースでグループホームを見学し、一軒家で数人と暮らすタイプや、マンションのような建物で一室が割り当てられるタイプなどがあることを知りました。また、意外と自由度が高いことを知り身近に感じた一方で、自己管理の必要性を感じています。

「就労移行支援」「就労継続支援」「グループホーム」など、言葉では耳にしてもイメージがもてていなかったものが、実際に見学し説明を受けることで、理解につながった生徒もいました。

今回の見学場所が全員の進路に直接つながるものではないかもしれませんが、これからの自分の進路を考える上で、ぜひ参考にして欲しいと思います。



しんしのつ会 1 泊旅行

進路指導部 古 東 貴美代

7月22日（土）から23日（日）、定山溪温泉ホテル鹿の湯にて、卒業生62名、職員21名、総勢83名の参加で卒後支援の『一泊旅行』が行われました。昼過ぎ、札幌駅から大型バス2台に分乗し、定山溪には3時頃に到着。昨年と同じホテルでの開催だったため、参加者も慣れた様子で、買い物や温泉、おしゃべりなど、それぞれにゆったりと楽しんでいました。宴会場での全員そろっての夕食。2次会ではカラオケ、部屋での女子会など、久



しぶりの仲間や先生方との再会に、時間を忘れて遅くまで楽しみました。

2日目、出発時間が10時過ぎとゆっくりのため、朝寝坊をする人や、逆に早起きして仲間と散歩に行く人、温泉にゆっくり入る人、朝ご飯のバイキングにたっぷり時間をかけて思う存分楽しむ人、職場用のお土産を選んでいる人・・・それぞれのんびり楽しむことができました。

在校生の皆さんも、卒業後3年間は一泊旅行に参加することができます。懐かしい仲間や先生方との再会で、とても楽しい時間を過ごすことができますので、是非参加して、楽しい思い出を増やしてみたいはいかがですか！？



美術部紹介

美術部顧問 八木 郁 朗

美術部では「自分が一番描きたいものやつくってみたいもの」をテーマに生徒それぞれがマイペースで作品制作に取り組んでいます。今年度は1年生が8名入部して部員合計が14名となり、例年になくにぎやかな美術部となりました。今回はそんな美術部の日常をご紹介します。



部活動の時間が始まると生徒たちは自分の作品が入ったファイルと色鉛筆やマーカーなどの画材を準備してから制作を始めます。漫画やアニメなどのキャラクターものの「塗り絵」や「なぞり書き」、イラストを見て「模写」をするのも人気です。また、「折り紙」などもオリジナルの形を考えて制作するなど人気があります。今年度は本格的な「油絵」の静物画に挑戦する生徒もおり、作品のバリエーションはとても豊かです。制作のペースや題材もすべて自由ですが、制作中の生徒たちの集中力は素晴らしく、14名の生徒がいても部活動中の美術室はとても静かです。普段、何かと忙しい学校生活を送っている生徒たちにとっては、この部活動がちょっとしたリフレッシュタイムになっているのではと思います。



また、完成した作品はとても個性的でオリジナリティにあふれ、たくさんの素敵なアート作品が生まれています。多くの作品は新高祭での会場にも展示予定です。発表に向けて現在、制作中ですので、機会がありましたら是非、美術部の作品たちをご覧くださいけると幸いです。



編集後記



春にはたった数本の小さくか弱かった苗も、秋にはぎっしり実の詰まった稲穂となり、収穫の時期を迎えたこの頃です。体力づくりのランニングをする度に季節の移り変わりを感じていましたが、頬をきる空気の冷たさと頭を垂れた稲穂、そして収穫が終わった畑を見るとまもなく訪れる冬をぐっと近くに感じます。

さて11月には2学期最大の行事、「新高祭」が開催されます。現在、生徒と職員が一丸となって準備を進めているところです。

是非、足をお運びいただき、温かい声援と拍手をよろしく願います。